

フランス産業財産庁の新長官にイフ・ラピエール氏

2010年9月10日

JETRO デュッセルドルフセンター

フランス産業財産庁（INPI）は、8月30日、イフ・ラピエール氏（Yves Lapierre）が新長官に就任した旨、プレスリリースを行った。2004年5月からINPIの長官を務めていたブノワ・バティステリ氏が2010年7月1日に欧州特許庁（EPO）の長官に就任したことに伴い、同日よりフィリップ・ラバル氏がINPIの暫定の長官とされていたが、8月25日よりラピエール氏が正式に長官を務めることとなった。

ラピエール氏は同プレスリリースにおいて次のとおり述べている。「産業財産権は企業の競争力のための保証である。技術革新に基づく成長と模倣品対策のためのサービスにおける能力と効率性が広く認知されているINPIの長官を引き継ぐことができ、大変光栄である。」

ラピエール氏はポリテクニク大学の物理学の博士課程修了。フランス原子力庁（CEA）及び米国（スタンフォード大学）において産業と研究の分野で複数のポストを務めた後、1992年にサフラン・イスパノスイザ社に貿易及びプログラム部長として入社した。1994年には、再びCEAに戻り、課長と核燃料サイクル部門の部長を務めた。そして、2001年、アレヴァグループのSTマイクロエレクトロニクス社の産業化部長として入社し、2003年に同社の最高経営責任者に任命された。さらに2009年、アレヴァTA社の最高経営責任者に就任した。

— INPIのプレスリリースは、以下参照 —

[Yves Lapierre, Directeur général de l'INPI](#)

— バティステリ氏のEPO長官への就任については、以下参照 —

[欧州知的財産ニュース 2010年3～4月号 \(vol. 37\)](#)

(以上)